

救助工作車（Ⅲ型）仕様書

豊中市消防局

第1 総則

1 総則

- (1) 本仕様書は、豊中市（消防局）が購入する救助工作車（Ⅲ型）（以下「救助工作車」という。）、救助用資機材及び高度救助用資機材（以下「資機材等」という。）の仕様について定める。
- (2) 救助工作車は、道路運送車両法、道路運送車両の保安基準等関係法規及び「緊急消防援助隊設備整備費補助金交付要綱」基準額告示に定める規格の「救助工作車（Ⅲ型）」に適合し、緊急自動車として承認が得られるものであること。
- (3) シャシ及び艤装にあたっては、承認図を消防局へ提出し、承認を受けた後措置すること。
- (4) 仕様書並びに艤装中に生じた疑義については、すべて消防局の解釈による指示を受けた後、措置すること。
- (5) 仕様書に明記していない箇所で、艤装する上で当然すべきことは、メーカーで責任を持って実施すること。
- (6) 納品する資機材等は、すべて新品で最新型であること。
- (7) 同等品申請又は質疑がある場合は、質疑等申請期限までに契約検査課に申請すること。
- (8) 本仕様書に明記されていない箇所は、すべてメーカー公表の標準仕様とする。
- (9) 納期は、令和8年3月31日までとし、納車場所は、消防局とすること。（納期については相談可）
- (10) 納車台数は、1台とする。

2 提出書類（A4 ファイル綴り）

- (1) 製作前に提出するもの
 - ア シャシ及び艤装等製作工程表 2部
 - イ シャシ及び艤装等承認図 2部
 - ウ 各機構装置図 2部
 - エ 重量計算書 2部
 - オ その他消防局が指示するもの
- (2) 納車時に提出するもの
 - ア 完成図面 2部
 - イ 電気配線図 2部
 - ウ 車両整備解説書 1部
 - エ 車両等パーツリスト 1部
 - オ 車両取扱説明書 2部
 - カ 自動車検査証及び自動車損害賠償責任証明書の写し 2部
 - キ 艤装完成車両の四面写真又はデータ 2部
 - ク 資機材等関係取扱説明書 2部
 - ケ 改造自動車申請書 2部
 - コ その他消防局が指示するもの

3 検査

- (1) シャシ及び艤装等製作工程表に基づき中間検査を実施すること。
- (2) 新規登録を行う前に仕様書に基づき、完成検査を実施すること。
- (3) 納車時には、各機能試験を行い、燃料タンク及びアドブルーは満量とすること。

4 新規登録

- (1) 完成車は、積載予定のすべての資機材等を装備し、近畿運輸局大阪陸運支局で新規登録事務の一切を実施すること。
- (2) 車両登録番号は、消防局が指定する番号を取得すること。
- (3) 納車諸費用のうち、自動車リサイクル料、自動車損害賠償責任保険料、自動車重量税を除く諸費用及び手数料は、受注者にて負担すること。

5 取扱指導

消防局の指定する日時に、車両、資機材等の操作及び整備要領について、各救助隊（3 隊）に入念に説明・実技指導をすること。

6 保証

- (1) 資機材等も含めた車両一式の無償保証期間は、2 年とすること。
なお、メーカーの公表する保証期間がそれ以上の場合は、その期間とすること。
- (2) 保証期間後においても構造、設計及び材質の不良又は、技術に起因した不備欠陥による故障は、無償修理すること。

第2 車両

1 総則

- (1) シャシ型式（四輪駆動車・増トン仕様）は、キャブオーバーダブルキャブ型 5.5 トン級低床フルタイム 4WD の消防専用シャシで、次のいずれかとする。
・日野自動車 2 K G - G X 2 A B A 又は同等品とする。
- (2) ダブルキャブ型ハイルーフ（後部拡張型）・ボディ・ドアともに鋼板製（一部ガラス）であること。
- (3) 完成車両諸元

車 両 全 長	約 7, 7 9 0 mm 以下
車 両 全 幅	約 2, 3 8 0 mm 以下
車 両 全 高	約 3, 2 0 0 mm 以下（アンテナ含む）
車 両 総 重 量	約 1 2, 0 0 0 kg 未満
ホ イ ル ベ ー ス	3. 8 m 以下
エ ン ジ ン 出 力	7 4 Kw 以上
乗 車 定 員	5 名 以上

2 車両本体

(1) 取り付け品

- ア 後退警報器を取り付けること。（解除スイッチ取り付け）
- イ 電流計及び電圧計（内部照明付き）を取り付けること。
- ウ オイルパンヒーター（CTEK 製）をマグネットコンセントで取り付けること。また、キャブ内の指示する位置に接・断スイッチを設置すること。
- エ エンジン点検用の照明灯を取り付けること。
- オ 全輪に泥除けカバーを取り付けること。
- カ 全ドアに集中ドアロックを、別配線で取り付けること。
- キ 全ドアにサイドバイザー（ステンレス製）を取り付けること。

- ク 運転席及び助手席に、サンバイザーを取り付けること。
- ケ 指示する位置に、エッチングプレート（車両全長、全幅、全高、総重量及び登録番号を記入）を取り付けること。
- コ 各用途にまとめたヒューズボックス（名称及びアンペアを記入）を取り付けること。
- サ LEDヘッドランプを取り付けること。
- シ スタッドレスタイヤ（アルミホイール付）6本を付属すること。
- ス 燃料タンクは、100ℓ以上とすること。
- セ 指示する位置に、自動車用ABC粉末消火器（20型）2本を取り付けること。
- ソ 指示する位置に、車輪止を6個取り付けること。
- タ ETC車載器（セパレート型）のセットアップ作業をした後、運転席付近に取り付けること。

(2) キャブ外部

赤色警光灯

ハイルーフキャabinはCFRP製とし、赤色警光灯はハイルーフキャブと一体型、省電力であるLED式を内蔵すること。

(3) 車両前部

ア フロントバンパーの強固な位置に、ピンドルフックを左右2箇所に取り付けること。（張力3トン以上）

イ フロントバンパーの強固な位置に、バウシャックル（張力3t以上）を取り付けること。

また、下部に張力3トン以上の大型D環を取り付けること。

ウ 消防マーク（直径約150mm・台座色黒）を、車両前面中央部に取り付けること。

エ フロントバンパーに、埋め込み式でフォグランプを取り付けること。

オ フロントバンパー左右に、各1個LED赤色警光灯（大阪サイレン・LFA-100・保護カバー付）を取り付けること。

カ 左側サイドミラーについては、電動格納式とし大型車用一式とすること。（フロントアンダーミラー及び助手席専用ミラー付き）

キ キャブセンターピラー左側に、旗立て装置をステンレス製で設置し、旗竿が蝶ネジで固定できるようにし、訓練旗（厚手の布製黄色地 縦 450mm×横 310mm・「訓練」と丸ゴシックの黒色で両面に記入、直径25mmのポール付き）を付属品で取り付けること。

ク キャブ下部に化粧カバーを取り付け、内部の付属品等が容易に点検できる構造とすること。

ケ キャブ後方両側の下部に点検口を設け、片側は資機材等収納庫とし、一方はバッテリーが格納できる構造とすること。（ステップ延長式）

(4) キャブ室内

ア キャブ内に積載する装備品等には、衝撃緩衝材及び固定金具等を取り付けること。

イ 全座席に、厚手の防汚カバー（色は別途指示）を取り付けること。

ウ キャブ前方の指示する位置に、コンソールボックスを設けるとともに、電子サイレンアンプ、10連スイッチ、車載無線機、地図及び無線機等を入れる収納箱を取り付けること。

助手席は、呼吸器埋め込みシート（カバー付）とし、後部座席は、座面跳ね上げ式の折畳シートとすること。

- エ 空気呼吸器取付金具はボストロムシートの内蔵タイプのセキュアオールとすること。
- オ 助手席と後部座席の左右に、各 1 個フレキシブル型マップランプを取り付けること。
- カ 後部座席の前方に、保護バー（クッションゴム付き）を取り付けるとともに、フックを 5 個以上取り付けること。
- キ 各隊員用の携帯無線機と携帯用ライトが収納できるボックス及びタブレット端末を収納できるスペースを後部座席前方に設けること。（タブレット端末の収納スペースについては、常時充電可能とする。）
- ク 空気呼吸器取付金具（ボストロムシート内蔵タイプ）を取り付けるため、スペース及び強度等について、十分注意を払い製作すること。
- ※ キャブの最後部を後方に延長し、空気呼吸器等を積載するボックスをできるだけ大きく設け、後部席の居住空間を拡げること。
- ケ 後部座席を通常位置より後ろに移動させ後部座席前方の足元のスペースを 560 mm 以上確保すること。また起立状態でも呼吸器の脱着などが容易に可能なように床面から天井まで 1,800 mm 以上のスペースを確保すること。
- コ キャブの最後尾に、空気呼吸器用ワンタッチ金具（4 器）を取り付けること。
- サ キャブ内には小型の救助用資機材等が収納できるように前部オーバーヘッド部左右には分割式のコンソール（OP）、中央上部にはルーフセンターコンソール、前部オーバーヘッドと中央部ルーフセンターコンソール間には中間棚（OP）、後部にはリアルーフコンソールを取付け、飛び出し防止を施すこと。
- シ ルーフコンソール床面にはマットを敷き、下部にはパンチングプレートを設けること。
- ス 室内天井
- (ア) 天井は、吊天井又は成形天井で材料は、ビニールレザー等とすること。
- (イ) 天井に保護枠付で埋め込み式 LED 照明を取り付け、運転に支障のないように遮光すること。（スイッチは、単独及びドア連動とすること。）
- (ウ) 無線アンテナ及び赤色警光灯等の取り付け部分にファスナー（30 cm 以上）又は点検口等これに代わるものを取り付けること。
- (エ) 天井にネット式収納スペースを 2 箇所設けること。（取付位置は別途指示）
- セ 機能集中型操作スイッチ
- (ア) キャブ前方の指示する位置に、機能集中型操作スイッチ（大阪サイレン製・S B W-D 1）を取り付けること。
- (イ) 標識灯及び計器灯等の各種スイッチを組み込むこと。
- (ウ) 各扉、シャッターの開閉及びはしご昇降装置の状態を示す、表示灯を取り付けること。
- ソ サイレン拡声装置
- (ア) 電子サイレン（M a r k-D 1・T S K-D 1 5 2・大阪サイレン製）を、キャブ内のコンソールボックスに強度ある金具で取り付け、マイクジャック（電子サイレンの後部取り出し）を指示する位置に設けること。
- なお、マイクジャックは、サイレンとマイクが同時に使用できるように結線すること。
- (イ) アンプの最大出力は、50W 以上とすること。
- (ウ) マイクロホンは、10m 以上の延長コード付きとすること。
- (エ) 音声合成装置には、標準搭載のメッセージのほかに、以下の文言を再生できる

ようにし、文言をキャブ内の指示する位置に明示すること。

- ・ No.3 7 0 「春の火災予防運動」
- ・ No.3 7 2 「秋の火災予防運動」
- ・ No.4 1 2 「火気厳禁」
- ・ No.1 6 3 3 「鎮火」
- ・ No.4 0 4 「連絡要請」

(ハ) 付属専用マイクのボタンから、渋滞通過広報 (No.524) ができるようにすること。

(ニ) 出場予告 (No.500) 及び渋滞通過広報 (No.524) のスイッチを、機能集中型操作スイッチに組み込むこと。

タ チルト装置

(7) バッテリーを電源として油圧モーターを駆動し、油圧シリンダーに油圧をかける構造とすること。

(イ) チルトした時の安全を考慮し、支え棒をキャブにセットすること。

(ロ) 誤操作した時は電源が入らないように安全装置を取り付けること。

チ 運転席及び助手席上方のオーバーヘッドコンソールを設け、必要に応じ電装類を設置すること。

ツ モーターサイレンスイッチを運転席及び助手席用にボタン式で設置すること。

テ 1 0 0 0 W以上のインバーターコンセントを2口×2カ所設置すること。

ト エアコンは後部座席に追加すること。

ナ 車両運行時の安全を確保するため、キャブ内運転席上部オーバーヘッド部に車両状態警告表示を行う液晶モニタを取付けること。モニタは 3.5 インチ TFT カラー液晶ディスプレイとし、シャッター、ステップ、大型扉の開閉状況、クレーン、大型照明装置、積載梯子昇降装置の収納状況、大型照明装置用発電機の使用状況が表示できること。さらに前後左右にカメラを取り付け4つのカメラ映像を合成し鳥瞰図で車両全周囲を液晶モニタに表示すること。また付帯システムとしてバックアイ、ドライブレコーダーの機能を有すること。

第3 艀装

1 総則

- (1) 悪路走行や歩道への乗り上げ等を考慮し、地上高は余裕のある高さを確保し、ボディは上方、下部及び後方へ絞りこんだ曲面コンパクト形式にすること。
- (2) 走行振動により、各部の折損、亀裂、ひずみ及び雨漏れ等が生じないものとし、雨水の滞留及び浸水しない構造の防水処理を施すこと。
- (3) 骨組み、ボディ側端及び突起物には、危険のないように丸みをつけ、ボルト等が長ければ短くする等危害防止処理を行うこと。
- (4) 車両の重要な点検箇所には、工具を使用して点検できるためのスペースを設けるとともに、必要に応じて点検口、点検扉及び照明灯を取り付けること。
- (5) 外観、機能上不具合がある場合を除き、赤色警告灯、照明、スピーカー及びブレード等は、埋め込み式で保護枠付とすること。
- (6) 作業灯等の各種外部スイッチ（防滴型）は、キャブ後部等の左右にまとめて取り付けること。（取り付け位置は、別途指示）
- (7) 車両各部に取り付けた赤色警告灯は、キャブ上部の赤色警光灯（大阪サイレン製）と連動すること。

- (8) ウインチ、クレーン及び照明灯等の各装置が有効に使えるように、エンジン回転数をアイドリングより操作時の自動追従する制御装置を設け、作動時以外はアイドリングに戻る低騒音仕様とすること。
- (9) 手摺
 - ア 手摺パイプ（ステンレス製）は、車両上部への昇降に必要な箇所に設け、足掛けの位置を考慮すること。
 - イ キャブ内への乗降が安全にできるように、センターピラー及び後部ピラーにステンレス製の手摺を取り付けること。
- (10) ステップ
 - ア 材料はアルミ縞板とし、下部の骨組みは強度ある方法で取り付けること。
 - イ 各ステップの端は、L型に折り曲げて危険の無いように先端加工すること。
 - ウ フロントバンパーを延長し、上部足掛け用アルミ縞板を取り付け、前面フロントパネルに取手を設けること。
 - エ 各ドアの下部には、隊員が安全に乗降できる構造のステップを取り付けること。
 - オ 靴先等が塗装面にあたる部分には、アルミ縞板を取り付けること。
 - カ 車両左右側面と後部に、昇降用タラップを合計 4 箇所設置し、昇降時に靴等が当たる部分には、アルミ縞板で保護すること。（できる限り上部は 300 mm程度出して内側に折り曲げ、横棧に滑り止め処理を施すこと。（詳細別途指示。）
- (11) 塗装
 - ア ボディから露出する器具箱等の各金具、作業灯及び飾りナット等は、上質のクロームメッキ等を施すこと。
 - イ 塗装は、入念なさび落としをした後、下地処理を行い、消防用スカーレットで上塗りして入念華美に仕上げること。
 - ウ ステップは、入念なさび落としを実施した後、シルバー塗装を行うこと。（アルミ部分は除く。）
 - エ シャシフレーム等は、標準色とすること。
- (12) 資機材等の固定等に用いる脱着して使用するネジやピン等は、ワイヤーなどで脱落防止の処置を施すこと。

2 車両側面

- (1) 左右側面上部に各 2 箇所赤色警告灯（大阪サイレン製・L F A—2 0 0—2）及び作業灯（大阪サイレン製・L I A—2 0 0）を取り付けること。
- (2) シャッターは手動バータイプとすること。
- (3) スモール灯と連動するバス型のタイヤ照明灯を取り付けること。
- (4) 車両後部両側面に、後部車幅灯を取り付けること。
- (5) 車両側面に、方向指示器を埋め込み式で取り付けること。

3 車両後部

- (1) 車両後部左右に赤色警告灯及び作業灯（大阪サイレン製・L F A—1 5 0・保護カバー付）を取り付けること。
- (2) 車両後部左右 2 箇所に、後退灯を取り付けること
- (3) 牽引フック
車両後部の強固な位置に、バウシャックル（張力 3 t 以上）を 2 箇所取り付けること。

(4) 収納ボックス

ア 左右シャッター巻き取り部分に干渉しないよう、巻き取り部と平行した、奥行のある収納庫を設け、車体後方から取出しができる構造とすること。

イ 車両後部に、バスケット担架等の収納ボックスを設け、縦置きで収納できる構造とすること。

ウ 後部バンパー内に収納庫を設けること

(5) 後部バンパー左右に埋め込み式大型ステップを設け、天井へのタラップとして、クレーン装置左右にL字タラップを設置すること。

(6) バンパー左右を内側へ絞り込んだ狭小構造にすること。

4 車両上部

(1) 上部支点

ア 車両上部の左右に、各3個D環式のフックを取り付けること。（取付位置は別途指示）

イ D環は、可動式で車両に強固に取り付けること。（取付位置は別途指示）

(2) 収納ボックス

車両上部に、アルミ縞板製の収納ボックスを取り付けること。

(3) 車両後部の指示する位置に、伸縮柱付作業灯（フラッシュボーイSP-Q15）を取り付けること。

(4) はしご昇降装置

車体上部に三連梯子及びカギ付き梯子を重ねて積載し、手動にて地上より操作が可能な引出回転式にて積載すること。

(5) 天井部を夜間照射するLED照明を必要数取り付けること。

5 資機材等収納庫

(1) 総則

ア 収納庫の骨組材（棚）及びボックス等は、アルミ合金及びステンレス鋼を使用し、緩衝用ゴム等を敷き、防水パッキン、水抜き等の措置を講じ、総合的なバランスを考慮して製作すること。

イ 資機材等収納庫は、資機材等取り出し時及び収納時の利便性、走行時の振動による移動、落下等防止のため、ラッシングベルト及びマジックテープ等の固定装置で確実に固定できるよう取り付けるとともに、ソフトタッチで容易に脱着できるよう十分考慮して製作すること。

ウ 資機材等の積み下ろしを容易にするため、台座引き出し式レールやローラー等を設けるとともに、脱落防止のためのストッパー機能を合わせて有する構造とすること。また、高所にあつては、斜降式の台座引き出し式レールを設けること。

エ 可能な限り同一用途品を同一箇所へまとめて積載すること。

オ 資機材等ごとに、アルミ製収納ケースに収めて積載しケースには、搬送を容易にするための取手を取り付けるとともに、消防局名及び収納する資機材等名を側面に明記すること。（カード式とする。）

カ 資機材等収納庫には、すのこ及び緩衝材等を敷き資機材等の保護を図るとともに防水パッキン、水抜き穴及び排水パイプ等必要な措置を講じること。

キ 予備ボンベの積載は、横積み差し込み式ラック（抜け落ち防止機能付き）とすること。（5リットル～9リットルボンベ対応型、数量については、別途協議す

ること。)

ク 各資機材等収納庫について、扉及びシャッター内には十分な明るさのLED照明灯を必要数取り付け、キャブ内に手動スイッチを設けること。また、各個室に指定する番号を明示すること。

ケ 資機材等の変更が生じた場合に容易に配置変更ができるよう高さ調整できること。

コ 車両下部にあるステップ兼用の扉は、ダンパー方式のチェーンレスステップとし、移動時につまづく恐れが無いように極力飛び出しが少ない構造とすること。なお、軽量化と展開を容易にし、剛性を持たせること。

サ 削岩機など別途指示する資機材等は、地震などの大災害が発生した場合のみ使用するため、積替えできるよう積載方法を工夫すること。

シ その他の資機材等の積載方法は、別途協議とすること。

(2) 車両側面収納部

左右各2枚の手動式アルミシャッターで、いかなる走行状態においても開閉しないロック式とすること。(補助ベルト付き)

(3) 車両下部収納部

ア 左右下部収納部の扉は、埋め込み二重ロック機能付きで二重扉とすること。

イ 内側にはアルミ縞板を張りステップ兼用とし、周囲には、黄色反射テープを貼り付けること。

ウ 角は丸みを帯びた形状とし、展開時に扉エッジ部にはステンレス製保護カバーを取り付けること。

(4) リヤタイヤフェンダー部

ア リヤタイヤフェンダー部の扉は、埋め込み二重ロック機能付きで二重扉とすること。

イ 内側にはアルミ縞板を張りステップ兼用とし、周囲には黄色反射テープを貼り付けておくこと。

ウ 角は丸みを帯びた形状とし、展開時に扉エッジ部にはステンレス製保護カバーを取り付けること。

エ 支点となる環フック(張力500kg以上)を左右各2個取り付けること。

オ 内部にはLEDタイヤ灯を設けること。

(5) 車両下部後方収納部

ア 車両下部後方収納部の扉は、埋め込み二重ロック機能付きで二重扉とすること。

イ 内側にはアルミ縞板を張りステップ兼用とし、周囲には黄色反射テープを貼り付けること。

ウ 角は丸みを帯びた形状とし、展開時に扉エッジ部にはステンレス製保護カバーを取り付けること。

6 ウインチ

(1) ウインチ装置の諸元及び性能は次のとおりとする。

ア 能 力 . . . 常時前後5t以上

イ ワイヤ . . . 30m以上

ウ 巻取速度 . . . 無段階

エ 操作方法 . . . 有線(無線)リモコン

(2) ウインチ装置の動力は、車両のトランスミッションPTOで油圧ポンプを駆動させ、後軸後方のフレーム間に直引き能力5t級の前後引きウインチを架装すること。

なお、車体の振動やねじれ等に十分耐える強度を有すること。

- (3) ワイヤロープの牽引角度は、全方位できるだけ広く対応でき、乱巻き及びキンク等が発生しない構造とすること。
- (4) 安全装置として、過負荷防止装置及び逆転防止装置を取り付けること。
- (5) ウインチのロープガイドが延長したフロントバンパーよりとびださない程度に、アルミ縞板製のカバーを取り付けること。なおこのカバーはウインチ使用時にはカバーを取り外さなくてもロープが引き出せるように工夫し、必要に応じてカバー全体も取り外せるようにすること。
- (6) ウインチの操作方法は手動及びリモコン（有線 無線方式）とし、無線リモコンについてはクレーンの無線リモコンを使用し、照明装置と兼用型とする（トリプルラジコン仕様）
- (7) 手動で引き出す時は引出し操作に追従し行動するアシスト機能を設けること。
- (8) リモコンの取り出し口は、車両の前部左及び後方ウインチ付近に各 1 箇所設けること。また、バンパー中央に収納できるよう蓋付きボックスを取り付けること。
- (9) ウインチモード切替スイッチ及び作業灯を、リモコン差込口付近に設けること。
- (10) クラッチの断接等すべての操作は、リモコンで行えるものとし、非常時操作可能な構造とすること。
- (11) 夜間作業用に照明灯を前後部はウインチ扉内に取り付けること。また、スイッチを指示する位置に設けること。
- (12) フロントウインチ収納時は固定治具を取付け収納し、後部使用時に後方ウインチのみの操作で、引出し使用できる構造とすること。
- (13) ウインチ作業時に牽引能力がより容易に判断できるよう、ウインチ本体に張力（荷重）測定機能を設け、前後ワイヤー繰り出し付近と有線リモコンには、現在の牽引張力・最大牽引張力までの残張力・ワイヤー残長さの 3 種類が切り替え式にて表示できるものとし、切り替えにあたっては車両前後と有線リモコンに設けたスイッチにより変更可能で、目盛りは 0.1 単位の自照式デジタル表示とすること。
- (14) この仕様書に明記されていない箇所は、メーカー標準仕様とすること。

7 クレーン装置

(1) 型式

ア 型式

Z X294H R E N B A 又は同等品以上

イ オプション

- ・ フックイン
- ・ ブーム・アウトリガー未格納警報装置

- (2) ボディ後部に、最大吊り上げ能力 2.9 トン以上のクレーン装置を取り付け、シャシフレームを必要に応じ補強すること。
- (3) クレーン装置の動力伝達装置は、車両のトランスミッション P T O よりウインチ装置兼用のオイルポンプを駆動させ作動する構造とすること。
- (4) 始動及び格納時には、伸縮及びフックイン操作が自動格納できること。（非常時には、すぐに停止できること。）
- (5) クレーン装置の両側操作部の見易い位置に、水準計と荷重計を取り付けること。
- (6) クレーン用油圧ポンプの作動油交換を容易にするため、交換用パイプを車両下部まで下げ、ドレンコックを取り付けること。
- (7) 油圧ゴム配管等が本体等に接触する恐れのある場所には、保護ガード等を取り

付けること。

- (8) 車両両側下部のアウトリガー・ジャッキ付近に、ジャッキ用敷板（マグネット式）を収納するボックスを取り付けること。
- (9) クレーン後部に、手摺付きの保護板とアルミ縞板製のステップを取り付けること。
- (10) 各種安全装置を取り付けること。
- (11) クレーンの塗装は、車両と同色にすること。
- (12) アウトリガー・ジャッキ構造
 - ア ジャッキシリンダーには、パイロットチェック弁を設け、ホースが破損してもジャッキが縮まない構造とすること。
 - イ アウトリガー・ジャッキ側面に、鋼製化粧板を取り付けること。
 - ウ アウトリガー上部に、ステンレス保護枠付き黄色灯を取り付けること。
 - エ アウトリガーには、事故防止のため、黄色の反射テープを取り付けること。
 - オ 各ジャッキ設置部周辺を照らす照明灯を取り付けること。
- (13) クレーン装置照明設備
 - ア ブーム先端にLED作業灯を取り付けること。
 - イ 夜間でもクレーン装置が使用できるように、照明灯を操作部分及び計器等に必要数取り付けること。
- (14) この仕様書に明記されていない箇所は、メーカー公表の標準仕様とすること。
- (15) 荷重表示は 50KG 単位とし、各種作動状態を示すインフォメーションパネルを左右に設置すること。
- (16) ラジコンは 2.7 インチカラー反射型の液晶画面で視認性を確保すること。また、本ラジコンの液晶画面にてフロントウインチのテンション（張力・荷重）を表示可能なこと。
- (17) 本無線ラジコンにて、フロントウインチ、照明の操作が可能なこと。尚、照明の操作にあつては本ラジコンにて左右個別俯仰が可能なこと。

8 発電照明装置

- (1) 発電照明装置は、発電装置、操作配電盤、伸縮装置及び照明器具等から構成されたもので、あらゆる災害の照明作業及び電源供給作業を十分行える性能があり、長年の使用に耐えられるものとする。
- (2) 点検が容易に実施することができ、無線障害及び雑音が発生しない構造とすること。
- (3) 発電装置
 - ア 型式
GE-2412B
 - イ 発電装置は、フルパワーPTOで駆動させ、発電機及び制御操作盤により構成し、照明作業や電源供給作業等の使用及び長年の使用に十分耐えられるものとする。
- (4) 配電盤
 - ア 型式
SVO-CB-FW3
 - イ 操作盤は、発電機と照明装置への電源供給操作を一体型にしたもので、設置は積載スペースを考慮したデッドスペースに取り付けること。
 - ウ 車両コンセントは、車両の前後左右に設けること。（電圧を明示すること。）

- エ 発電スイッチをセンターコンソール付近に設け、起動後の操作はリモコンで全て行えるものとする。
- オ 電圧調整器には、全自動で調圧すること。
- カ 各スイッチには、同容量のノンヒューズブレーカーを設けること。
- キ 操作盤の内部電流回路は、露出部が極めて少ないものとし、他の部分と十分な間隔が保たれ、整然と組み込まれていること。

(5) 投光器

ア 型式

S L D-6000U D C L-2-D

イ 投光器は、車両屋根上面に折りたたみ状態で収納できるものとし、振動に十分耐えられるように取り付けること。

ウ 投光器は、伸縮、旋回及び上下、ふ仰ができる構造で、有線リモコン及び無線リモコン操作により遠隔操作ができること。

(収納位置から左右どちらにも 180° 旋回できること。)

エ 下方向けの補助 L E D 照明を設けること。

(6) 伸縮装置

ア 型式

S V O-180-C L/4A ケーブルレス対応型

イ 自動収納型で、有線リモコン及び無線リモコン式とすること。

ウ 非常用として、縮動作を手動で操作可能な構造とすること。

9 電装関係

- (1) 容量は、「12V—150A H」以上 2 個とし、バッテリー液点検及び充電等の保守ができる位置に取り付けること。(納車時に、新品を取り付けること。)
- (2) バッテリー取り付け部は、工具等を使用せず容易に取り外せる構造とし、バッテリー受け皿は引き出し式とすること。
- (3) バッテリー本線のコード途中に、メインスイッチ(イグニッションキー兼用型は除く。)を運転席付近に取り付けること。
- (4) セルモーターカット装置を取り付け、別途指示する文字「S C」を記入すること。
- (5) 集中ドアロック、非常用点滅灯、無線機等必要な機能は、メインスイッチを介さないこと。
- (6) 発電能力が「24V—90A h」以上のオルタネーターを取り付けること。

10 消防専用電話装置及び車両運用端末装置積替え

- (1) 消防専用電話装置及び車両運用端末装置を、別紙 1 のとおり積替えること。
- (2) 車両後部に、外部通話用ハンドセット収納箱及び指示する位置にスピーカーを埋め込み式で取り付けること。
- (3) 助手席付近に、車両運用端末装置の取り付けスペースを確保すること。

11 文字表記

- (1) 車両前後部に、「豊中市消防局・TOYONAKA FIRE DEPT.」及び「番号」(番号は別途指示)と丸ゴシックのカッティングシール(色別途指示)で貼り付けること。
- (2) 車両左右の指示する位置に、「TOYONAKA FIRE RESCUE」・「救助工作車」と丸ゴシックのカッティングシール(色別途指示)で貼り付けること。
- (3) 対空文字「豊中 番号」(番号は別途指示)を、丸ゴシックのカッティングシール

ル（色別途指示）で貼り付けること。

- (4) 標識灯に「豊中市」と丸ゴシック（黒色）で記入すること。
- (5) 別途指示する資機材等に、機関名（豊中市消防局）をカッティングシール等で明記すること。
- (6) 左右側面のシャッターに、別途指示する文字及び絵等を記入すること。
- (7) 車両左右側面後部の指示する位置に赤帯１本（再帰性に富んだ反射材）を貼り付けること。

１２ 救助用資機材及び高度救助用資機材

別紙２の救助用資機材及び高度救助用資機材を、車両にその機能を損なうことなく安全かつ確実に積載できるよう艤装すること。

１３ 取付品及び付属品

品 名		規 格 ・ 形 状	数 量
1	標識灯		２個
2	自動車用消火器	２０型	２個
3	赤色警光灯	参考商品 M R A - B ３ １ ０ ・ 大阪サイレン製	一式
4	電子サイレン	M a r k - D １ ・ T S K - D １ ５ ２ ・ 大阪サイレン製	一式
5	後退警報器	解除スイッチ付き	１個
6	車輪止	ゴム製 黄色	６個
7	ウィンチ	M C W ５ ５ ５ R R T - F R 又は同等品	一式
8	クレーン	Z X 2 9 4 H R E N B A 又は同等品	一式
9	照明装置	スターライト S L D - 6 0 0 0 U C L 2 - D （LED1500W×２灯） 又は同等品以上	一式

１４ 軽微な変更としての取付品、取付装置及び付属品

品 名		規 格 ・ 形 状	数 量
1	タイヤチェーン	バンド付き・シングル	一式
2	車外無線送話機取出口		一式
3	GPS ナビゲーションシステム		一式

	ム		
4	電動サイレン		1 個
5	キャブチルト装置	電動油圧式（安全装置付き）、支え棒付き	一式
6	オイルパンヒーター	バッテリー充電器共用とすること（キャブ内に接・断スイッチを設置すること。）	一式
7	スタッドレスタイヤ		6 本
8	反射材		一式

1 5 規格外としての取付品、取付装置及び付属品

品 名		規 格 ・ 形 状	数量
1	ドライブレコーダー	KENWOOD（DRV-340、又は同等品）	一式
2	ETC車載器	セパレート型	一式

1 6 車両標準装備及び付属品

品 名		規 格 ・ 形 状	数量
1	スペアタイヤ	ホイール付き・ラジアルタイヤ	1 本
2	牽引フック	前後・滑り止め付き	一式
3	牽引ワイヤー	ソフトカーロープ 20 t 用	1 個
4	ブースターケーブル		1 個
5	グリスポンプ		1 個
6	フロアマット	全席	一式
7	非常信号用具	懐中電灯・赤旗・発炎筒・三角停止板	一式
8	標準工具	工具箱付き	一式

9	フォグランプ		2 灯
1 0	室内照明灯	保護枠付き・（L E D・ドア連動・単独切替スイッチ付き）	一式
1 1	点検灯	コード 5m 以上・100W	1 本
1 2	ナンバープレート枠	ステンレス製	一式
1 3	オイルクーラー		一式
1 4	サブラジエター		一式
1 5	L E D ヘッドランプ	メーカー純正	一式
1 6	泥除けカバー		全輪

以上

省令別表 第 1

一般救助用器具

R24

品名	型式	数量
かぎ付はしご	KHFL-CT31	1
三連梯子	KHFL-CT	1
	クレーン救出用金具 TRC-02	1
	T R S - 5 0 L	1
	ク ロ ス バ ー TRX-167	1
	搬送用キースター RFC-075	1
金属製ワイヤーはしご	KHFL-Y-11	1
空気式救助マット	ス ー パ ー ソ フ ト ラ ン デ ィ ン グ SSL (標準付属品含む)	1
救命索発射銃	レスキューショット (標準付属品含む)	1
サーバイバースリング	AZ1031-1	1
救助用縛帯	ベ ス ト リ ン グ AZ1030-1	1
	R-N430	1
	エンジ ェルハーネス	1
	ピ タ ゴ ー ル	3
	大型テ ラ ッ ク ス エ ハ ッ ク ハ ー ネ ス P/N:AC01-012-00	1
平坦架	ポ ー ル ス ・ メ ッ シ ュ 布 担 架	1
	プ ラ ス チ ッ ク ス ク ー プ ス ト レ ッ チ ャ ー X T セ ッ ト	1
	ハ ッ ク ポ ー ト モ デ ル 2010	1
	モ デ ル 436-IP ハ ッ ク ポ ー ト ス ト ラ ッ プ	5
	モ デ ル 445 ヘ ッ ト イ モ ビ ラ イ ザ ー	1
滑車	PL-75W	3
	PL-70T	3
	強力滑車 耐荷重5 t	1
カラビナ	KA102WK-S	40
	KA12K-S	10
	ステン 1 2 L KL12H-S	30
ロープ	東京製綱 M打 白 12 φ × 200m	2
	東京製綱 M打 赤 12 φ × 200m	2
	東京製綱 M打 緑 12 φ × 200m	2
	東京製綱 M打 青 12 φ × 200m	2
ロープガイド	PETZL ロ ー プ プ ロ テ ク タ ー PROTEC PLUS	1
ロープバッグ	CMC #2	4

重量物排除用器具

品名	型式	数量
油圧ジャッキ	E3ラムシリンダーR521E3(標準付属品含む) TMバック	1
	バッテリー E 3 専用	2
	ルーカスラムサポート LRS-C	1
	ホルマトロ フォーシフルエントリーツール T1	1
油圧スプレッダー	オガラ BC-300X (標準付属品付き)	1
	BL1860B(18V用)	1
可搬ウインチ	チルホール TU-16 20mワイヤー付	1
ワイヤーロープ	φ12mm×2m	2
	φ12mm×4m	2
	φ12mm×6m	2
マルチスリング	マルチスリング エントレス形 HN-W032 3.2t×2m	2
	マルチスリング エントレス形 HN-W032 3.2t×4m	2
	マルチスリング エントレス形 HN-W032 3.2t×6m	2
マルチスリング	あかつき リカバリチェーン G10-5820SGG 6m	2
	あかつき シャックル 11-AS34	1
マンホール救助器具	アリゾナホーテックス AZORPセット 講習会含む	1

切断用器具

品名	型式	数量
エンジンカッター	パワーカッター (マキタ CE001G Z)	1
	ダイヤモンドブレード	2
	充電器DC40RB	1
	BL4080F	12
	ダブルブレードカッター K760Cut-n-Break 替刃含	2
ガス溶断機	ペトロカッター YC3B	1
チェーンソー	根切りチェーンソー RC6200P-RKT set	1
	クイックベント (QV-670)	1
	ソーチェーン予備、チェーンオイル	各1
カッター	ZBC-600	1
鉄線カッター	WC-0260	1
鉄筋カッター	DPC-16R	1
	BPZ2-215C	1
	G A034G RMX	1

破壊用器具

品名	型式	数量
万能斧	レスキューフォース	1
	トップマン	5
ハンマー	10 ポンド 木製柄	1
携帯用コンクリート破壊器具	ストライカー PRT-6	1

検知・測定用器具

品名	型式	数量
生物剤検知器 ※※※	RAID-8	1
化学剤検知器 ※※※	LCD3.3	1
可燃性ガス測定器 酸素濃度測定器 有毒ガス測定器	可燃性ガス検知器 (XP302M-R-A-1・標準付属品含む)	1
	8mガス導入管、サンプリングフロート、巻取りリール型外部警報機(8mケーブル付)、ACアダプタ、アルミケース付属	1
放射線測定器 ※※	PDM-222VC	10

呼吸保護用器具

品名	型式	数量
空気呼吸器	ライフェム A1-12F (ACTハーネス 豊中市仕様 面体付(首掛け紐付) ボンベ(730CⅢ・豊中市仕様)付(1本) トランクケース無・残圧警報器5MPa設定 腰パッド・ショーツタイフ・ハーネスレスクマスカ レスクマスカセット(ACTハーネス用) 予備ボンベ(730CⅢ・豊中市仕様)	5
空気補充用ボンベ ※	730CⅢ(豊中市仕様)	1

隊員保護用器具

品名	型式	数量
耐電手袋	YS101※サイズ別途指示	5
携帯警報器	ボディガード	5
	ストロボ SL-15	5
防毒マスク	RM-185	5
化学防護服 ※※	CPS5800 手袋付	5
	安全長靴 PVC	5
耐熱服 ※	RI-300 収納ケース付	5
放射線防護服 ※※	インナーハーベージスーツ KH-3型	5
	個人用線量計 PDM-222VC	2

水難救助用器具 ※

品名	型式	数量
潜水器具一式	トリスーツ RS119D1A 3.5mm※サイズ別途指示	5
	ウエットスーツ RS119W1※サイズ別途指示	5
	グローブ 3シーズン アクアラング マリンググローブ サイズ別途指示	5
	グローブ 1シーズン ヒートグローブ TA0204※サイズ別途指示	5
	ブーツ DB0101※サイズ別途指示	5
	キャップ(フット) DSF1000 ※所属名表記	5
	ステンレスハックル付ヘルム 1.5m	5
	ウエイト2kg×3	5
	ウエイト1kg×3	5
	潜水用ヘルメット アクアラング ハーフカット白 ※識別番号表記	5
	アクアラング スクイーズロックナイフ	5
	メタリコンタンク10L K2バルブ付	5
	メッシュバック BA0105 ※所属名表記	5
	マスク REVEAL X1	5
	スノーケル SP461QB OR	5
	フィン TUSA KAIL SF1101 (Lサイズ) オレンジ	4
	フィン シュレッターSARフィン	2
	水難救助潜水用アンカー 10kg・20kg	各1
	BCジャケット BCJ4000	5
	レギュレーターセット RS340/SCA360	5
	オクトパス機能付きインフレーター DUO AIR SS0002J	10
	水中無線機 LGS-RG004-SAR	5
	水中通話装置 陸上機 LGS-SS001-SAR	1
流水救助器具一式	レスキューバックEXP φ8mm×25m	5
救命胴衣	レスキューシヤパンNRS ラビッドレスキュア ライフジャケット レッド	5
水中投光器	アクアラング FOCUS/UW 1050	5
救命浮環	LB-25	1
	P-230K	1
	P-136K	3
船外機	マーキュリー ME9.8M SEA PRO 2サイクル	1
	URAステンレスプロペラカート 取付費含む	1
船外機キャリアー		1
救命ボート	SEI-365 ネーム入含 クレーン吊対応 ケブラー補強含む	1
	エアガン300	1
	ハンディープロー AM-100HP	1
	救命胴衣 TK-18A	6
	消火バケツ N-SB	1
	信号紅炎 SF-2	1
	救命浮環 P-230K	1
	アンカー L-S3.5	1
	黒球 TK-2B	2
	船検プレート N-PT2	1
	警笛	1
	船舶検査受験代行費用	1
すばり、検索棒	レスキュースティック	1
水中ドローン	FIFISH E-GO	1

山岳救助用器具

品名	型式	数量
バスケット担架	モデル71 4ボイントフット付	1
	タイトンTi分離型	1
ハーネスボード	WHB-900	1

その他の救助用器具

品名	型式	数量
投光器一式	マキタ ML004G (40V)	1
	三脚 A-69192	1
	マキタ BL4080F	2
	発電機 EU18i	1
	コードリール GE-30K	1
携帯投光器	ハタヤPEP-S3DC	5
	スーパーセイフーライト 2000 イエロー	5
携帯拡声器	TS-533L	2
携帯無線機	TCP-235、バッテリー、予備電池2個、急速充電器、スピーカーマイク2個、ヘリカルアンテナ、ベルトクリップ、無線機ホルダー、無線機収容ケース、ショルダーベルト	5
応急処置用セット	10人用	1
その他の携帯救助工具	斧 190170	1
	ツルハシ大 154987	1
	ツルハシ小 154988	1
	かけや 110358	1
	かるがるカナデコハール 2100mm	1
	かなてこ小 D-11 1200mm	1
	六角L型バール 600mm	1
	スコップ (丸型) 金属製柄	1
	スコップ (角型) 金属製柄	1
	リトルエレファント Gシヨベル	5
	ART-ATK24	1
	グラスマスター WGM-3	1
	レスキューサワー RAPTOR	1
	レスキューマンスーパーツール300	2
	鉋 190132	1
	鎌 196536	1
	鋸 カタノボー1650	1
	とび口 (木製柄) 1800mm	2

省令別表 第 2

重量物排除用器具

品名	型式	数量
マット型空気ジャッキ	マキシー・フォースG2エアバッグ	
	KPI-22	2
	KPI-44	2
	KPI-8	1
	KPI-10	1
	KPI-17	1
	マルチフォース 88D025	1
	レギュレーター	1
	デュアルコントローラー	2
	ストップバルブ	4
	高圧ホース10m	4
	すべり止めゴム板	2
	マキシフォースミニセット	1
救助用ブロック	RESQTEC CB SET C 4	1
	RESQTEC ウエッジ	4
	RESQTEC CB40	4
	RESQTEC CB80	2
	RESQTEC CB600	2
	ウェーバー スタブバック	2
大型油圧スプレッダー	E3スプレッダー SP555E3 TMバック	1
	チェーンセット KSV-11	1
	充電器	1
	バッテリー	2
救助用支柱器具 ※	アクメスレッド・ストラト 型式796202	2
	ロックストローク・ストラト 型式796000	2
	ストラト・エクステンション 型式796012	2
	ストラト・エクステンション 型式796036	2
	ストラト・エクステンション 型式796035	2
	ベースプレート類 型式796070	4
	ベースプレート類 型式796060	2
	ベースプレート類 型式796150	4
	ベースプレート類 型式796134	2
	ベースプレート類 型式796025	4
	ベースプレート類 型式796269	2
	ベースプレート類 型式796160	2
	マニュアルコンプレッサー	1
	ショアリングハンマー	1
	ピケット	2
	ラチェットベルト (フィンガーフック付)	4
	タイダウンキー (Jフック付)	2

切断用器具

品名	型式	数量
空気鋸	タイガーエアソー	1
大型油圧切断機	E3カッター S789E3(標準付属品含む) チェーンセット TMパック	1
	バッテリー	2
空気切断機	アジックス M-811	1
コンクリート・鉄筋切断用チェーンソー※	K970ⅢChain	1
	ダイヤモンドチェーン ELC45	4
	Guide bar Eliete 18	1
	加圧式水タンク	1
ミニカッター・ドアオープナーセット	HT99/LC99	1

破壊用器具

品名	型式	数量
削岩機	マキタ HM1812	1
	スクーリングチェンセル A-25208	1
ハンマードリル	ヒルティハンマードリル (TE-70-ATC-AVR)	1
	TE-YX-35/57 (2120339) 35mm 6 枚刃	2
	TE-YX-18/32 (2122290) 18 mm	2
	TE-YXSM 28 (2241982)	2
	TE-YXSM 36 (2241983)	2
	TE-YXSC28/5 (2207029)	1
	TE-YX-SP50 (382278)	1
	TE-YXFM 28 (2241990)	1
	TE-YXFM 36 (2241991)	1
	マキタ JR002GZ (単品) 収納ケース付き	1
	バッテリー BL4025 (JR002GZ用)	2
	パワーソケット XGT10	1
	プレート BIM45 A-57956 5枚/組	1
	プレート BIM48 A-57984 5枚/組	1
	プレート BIM49 A-57990 5枚/組	1
	プレート BIM55 A-58051 5枚/組	1
	プレート HM3 A-61662 2枚/組	3

呼吸保護用器具

品名	型式	数量
酸素呼吸器	OXYGEM-11	5
酸素呼吸器予備ボンベ	OXYGEM-11用予備ボンベ	5
簡易呼吸器	パラート 5550	5
送排風機	防爆ママ BM-C (ダクト2本付 5 m以上)	1

隊員保護用器具

品名	型式	数量
耐電衣	YS-121 シンハート型	5
耐電帽	YS-125 黄色	5
耐電シート	YS-203-24-02	5
耐電フック棒	メジャーポール 212-8	1
検電棒	HSS-6B	1
検電チェッカー	HEV-750D	1
耐電ズボン	YS-122	5
耐電長靴	YS-111	5
エアータグセーフ	ルカス 運転席用	1
	ルカス 助手席用	1

その他の救助用器具

品名	型式	数量
緩降機	アイティル D020BA	1
ロープ登降機	アセッション(B17ALA、B17ARA)各1	2
救助用降下機 ※	SMC レスキューエイト SM0630	1
発電機	EU18i	1

省令別表 第 3

品名	型式	数量
画像探索機Ⅰ型	オリンパス IV9675GX-SV100	1
画像探索機Ⅱ型	プロカム PCⅡ-780S2 20m延長ケーブル付	1
熱画像直視装置	FLIR K65	1
地中音響探知機	サウンドレーサー AK-6	1
夜間用暗視装置	簡易搜索キット FRTNpro-2	1
地震警報器	STR-121	1

別表以外の資機材

品名	型式	数量
その他の救助用資機材	ホースマン	2
	ハーネスボード	1
	スピードボード	1
	スティフネックセレクト 980010	1
	スティフネックセレクト 小児用 980020	1
	防刃チョッキ	5
	ロープ・バック（BE030又は同等品）	1
	双眼鏡 シモンズ・ロホ（レーザー距離測定器）	1
	ストレッチフィルム SF18-500	1
	マキタ HP001GZ（※ケース付）	1
	バッテリー BL4025（HP001GZ用）	2
	マキタ WD181DZK	1
	バッテリー BL1860B	1
	LED合図棒 スリムハートン	2
	サルベージシート 3号	5
	脚立 TWP	1
	燃料缶 GT-5	4
	折り畳み台車 EX-1A	1
	整備工具 KTC SK3561W	1
	アルタ ニー・エルボークラット	5
	メジャー 50m 12-50HRW	1
	メジャー 5m	3
	ビデオカメラ（HDR-CX680 RED）又は同等品、メモリーカード（クラス10以上128GB）含む	1
	デジタルカメラ（TG-7 RED）又は同等品、メモリーカード（クラス10以上128GB）含む	1
	ジャバラコン JAC-PW70	3
	ゾンデ棒	5
	アラミッドラジオハーネス AM-1	10
	ディスクグラインダー GA001GRDX	1
	ガラスマネジメントセット 粘着ブルーフィルム	2
	張力計 TMD-N3000	1
	デジタル張力計 エンフォーサ	1

その他の救助用資機材 (都市型救助器具一式)	ロープ KMIII フル 100m K03160	1
	ロープ KMIII オレンジ 100m K05160	1
	ロープ KMIII ホワイト 100m K00160	2
	ロープ KMIII レッド 100m K01160	2
	BARHAR BH521 担架用スキッドシート	2
	CMC クラッチツインキット	2
	レスキューキットデラックス 500820	1
	アスレチックフロッピーシステム 500104	5
	プロボットFJモジュール 434112	5
	チューブローウェビング イエロー 3.6m 200107-1	5
	チューブローウェビング フル 4.5m 200102-1	5
	チューブローウェビング オレンジ 6.0m 200101-1	5
	レスキューエイト(アルミ) 300840	5
	スターリン ハンドルロープ フルシック レッド	15
	スターリン ハンドルロープ フルシック フル	15
	アノ C40A 60cm	10
	アノ C40A 80cm	10
	アノ C40A 120cm	10
	アノ C40A 150cm	10
	オーケスクリュロック カラヒナ M33A SL	20
	スチールロックンクDカラヒナ 300110	10
	フロシリースアルミロックカラヒナ 300221	10
	カートニーウルトラフーリー 300391	1
	レスキューフーリー 300301	5
	スィーブルフーリー 300430	2
	スィーブルタフフーリー 300432	2
	フロシリーススィーブル 300701	1
	ヒックオフキット 500108	1
	ハリアフルアンカストラップ 201040	2
	エッチカート M 294030	2
	アンカープレート 300615	1
	ホル P63L	1
	マイクロアンカープレート 300623	1
	スチールリンク 305011	1
	アンカストラップスリーブ M 294033	2
	ウォーターレスキューロープ PM1148 200m	1
	エトリエウイスタイン 201122	1
	エトリエウイスタイン 201132	1
	CMC ロープハック #4 黄・青・橙・赤 各1	4
	CMC ロープハック #6 黄・赤 各1	2
	シャスタキアハック 440403	2
	クイックレスボンズハック 440903	2

消防専用電話装置・車両運用端末装置積替え 仕 様 書 豊 中 市

第 1 章 総則

（適用範囲）

第 1 条 本仕様書は、豊中市（以下「本市」という。）が購入する消防車両に積載する消防専用電話装置・車両運用端末装置（以下「車両端末」という。）の既存車両からの積替えについて適用する。

（手続き等）

第 2 条 無線局の運用に至る申請並びに受検行為及びそれに要する費用は、受注者の負担とする。

（疑義）

第 3 条 疑義については、次のとおりとする。

- (1) 受注者は本仕様書を熟読して、内容を熟知すること。疑義が生じた場合は本市に照会し、その指示に従うこと。
- (2) 本仕様書は、車両端末の積替えに関する大略を述べたものであり、明記されていない事項で積替え作業実施に際して生じた疑義については、本市の指示に従うこと。

（承認図書）

第 4 条 次の図書を提出し、承認を得ること。

- | | |
|--------------------|-----|
| (1) 車両端末取り付け予定位置図 | 1 部 |
| (2) その他本市が必要と認める図書 | 1 部 |

（検収）

第 5 条 検収については、無線局免許状交付の後、本市が検収するものとする。

（機器の保証）

第 6 条 取り付ける車両端末の設置に関する保証は、検収後 1 年間とし、この期間に発生した機器取り付け上の不良等については、受注者が無償で改修するものとする。

第2章 車両端末の積替え

(構成機器)

第7条 既設の車両端末は、次の機器で構成されており、これらを廃車予定車両から取り外し、新規購入車両に効率よく格納できるように取り付けること。

ただし、ずばら充電器及びずばら充電器用電源装置一式を新規購入し取り付けること。

【車両端末】

(1) モニタユニット	1 台
(2) モニタユニット取り付け金具	一式
(3) 車両 I F ユニット	1 台
(4) メンテナンスユニット	1 台
(5) 無線 L A N アンテナ	1 個
(6) F O M A アンテナ	1 個
(7) G P S アンテナ	1 個
(8) 車外設定器（一部車両を除く。）	1 個
(9) 低電圧防止ユニット（12V車のみ）	1 台

【消防専用電話装置】

(10) 消防専用電話装置本体（別途支給）	1 機
(11) アナログ無線用空中線（ホイップアンテナ）	1 基
(12) デジタル無線用空中線（ホイップアンテナ）	2 基
(13) 空中線共用器	1 基
(14) ハンドセット及び掛け金具	2 個
(15) 車内スピーカー	一式
(16) 車外スピーカー（一部車両を除く。）	一式
(17) 分離アダプタ	1 個
(18) 副制御器（一部車両のみ）	1 個
(19) 筐体（本体用設置枠・別途支給）	一式
(20) 消防専用電話装置設置及び運用上必要なもの	
ア 同軸ケーブル（5D2V）	一式
イ 同軸コネクタ	一式
ウ スピーカーコード（2芯）	一式
エ ハンドセット用コード	一式
オ バッテリーケーブル（ヒューズ付き）	一式
カ その他機器設置に必要なもの	

(参考図書)

第8条 次の図書を参考資料として貸与する。

(1) 各機器の規格表	1 部
(2) 構成図及び配線系統図	1 部

第3章 取り付け工事

(機器の取り付け)

第9条 機器の取り付けは、次により行うこと。

- (1) 各機器等の取り付けに際しては、保守点検及び取り扱いが容易な場所に付けること。また、疑義等が生じた場合は、本市と協議し取り付けを行うこと。
- (2) 空中線の型式、取り付け場所については、本市の指示に従うこと。
- (3) 取り付けにあたっては、アンテナ長・周波数・出力等の測定・調整及び車両端末親装置とのデータ交信試験を実施すること。
- (4) 消防専用電話装置等の着脱が容易に行えること。
- (5) 各種配線及びコネクタ等を整理し、運用中に接続不良及び断線等を生じないように配慮すること。
- (6) 取り付けに際して必要となるアンテナ・ケーブル・コネクタ及びスピーカー等については、原則、新品とし既設品の流用が必要な場合は、本市の許可を得ること。
- (7) 車両メーカーで取り付けた、患者室内前方天井部の消防専用電話装置用スピーカーと無線機の接続を行うこと。
- (8) 機器取り付け場所については、アナログ無線とデジタル無線の併用を考慮する事。詳細については、本市及び取り付け業者と協議する事。
- (9) 各種ケーブル及びアンテナについて艤装段階で入線・取り付け可能な材料については先行して施工する事。詳細については、本市及び取り付け業者と協議する事。
- (10) 各種ケーブル端子及び、台座は接合するものを使用すること。また、走行中に端子台・固定ネジがゆるまないようにすること。

以上

明 細 書

品 目：救助工作車（Ⅲ型）
数 量：１台
規 格：仕様書のとおり
期 間：令和８年３月３１日まで

担 当：豊中市消防局警防課 小川
ＴＥＬ：０６－６８４６－８４２６
ＦＡＸ：０６－６８５０－７０７１
メー ル：keibou@city.toyonaka.osaka.jp